

項目	内容
名称	ハズ、ハズノキ [英]Croton Seeds、Ba Dou、Croton、Croton Cathartique、Tiglium [学名]Croton tiglium
概要	ハズは台湾、中国南部、東南アジア原産のトウダイグサ科の常緑小高木。高さ3～10 m程度に生長する。主に種子油が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種子：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ クロトン酸、チグリニン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、オレイン酸などを含む。また、種子はクロチンと呼ばれる毒性タンパク質 (クロトンアルブミン)、クロトノシドなどを含む (29)。 ・ 種子油は発がんプロモーターであるホルボールエステル類およびクロトン樹脂を含む (101)。
分析法	-
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101) 健康食品・中毒百科 丸善株式会社 内藤裕史 (102) Int J Crude Drug Res. 1984;22(4):173-6. (PMID:22556892) Anc Sci Life. 1999 Jan;18(3-4):205-9. (PMID:6519693) Indian J Exp Biol. 1984 Sep;22(9):487-504. (PMID:28539725) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13(50):300-308.	